

NUSHの生徒たちが来ました！

11月24日(木)～26日(土)まで、シンガポール国立大学附属数理学校(NUSH: National University of Singapore High School of Mathematics and Science)から、10人の生徒が来校しました。2019年以来3年ぶりの直接交流です。初日は若葉食堂でのWelcome ceremonyにはじまり、オンライン交流しかできなかった5期生(現高校1年生)との物理の授業、放課後の弓道部・剣道部での活動体験をしました。Welcome ceremonyでは互いの国や学校を英語で紹介し合った後、生徒手作りの日本のものや企業・自治体に支援いただいたグッズなどをお土産として渡しました。「シンガポールの生徒たちは日本語が堪能で驚いた」「折り紙などを通じて繊細な日本文化を伝えられたと思う。交流が楽しみ」などの声が聞かれました。NUSHの生徒は来日してその足での来校でしたが、疲れを見せることもなく放課後の部活動まで楽しんでいました。

2日目は、まず前日に続き5期生(現高校1年生)の授業、その後中学2年生・中学1年生の授業に参加しました。各クラス3, 4人ずつに分かれ、和算の授業や口語文法の授業など、日本の生徒と一緒に取り組みました。給食(チキン南蛮)や教室掃除も体験し、最後は中学3年生の学活の時間に、福笑い・坊主めくり・折り紙など日本の遊びを通して交流を深めました。

3日目の土曜日はホームビジットを実施し、高倍率の中選ばれた5つの家庭に分かれて、日本の生活を体験しました。着物を着たり、ゲームをしたり、川で遊んだりそれぞれの家での時間を満喫したようです。

短い期間ではありましたが、高志中の生徒たちも常日頃鍛えている英語の力を試したいと積極的に話しかける姿があちこちで見られ、中学1・2年生にとっては、シンガポール研修への期待と意欲が大きく高まる機会にもなりました。

